

# バラクルードについて (投与時の注意など)

[ \_\_\_\_\_ ]さま

## 【バラクルード】

- バラクルード(一般名;エンテカビル Entecavir/ETV)は抗ウイルス薬です。日本では2006年に保険収載され、以来B型肝炎の薬剤としてはまず第一に使われています。
- バラクルードはウイルスがDNAを増殖するのに必要なタンパク質(ポリメラーゼ)の特定の部位にくっつき、DNAの複製を邪魔します。ウイルスは増殖できなくなり、そのため肝臓の中でのウイルスの増殖を抑えることができます。

## 【バラクルードの効果】

- バラクルードはウイルスの蛋白質に作用し、人の蛋白には殆ど作用しません。従って副作用がほとんどありません。腎機能が悪い方は、隔日投与となります。
- 効果は確実です。98%以上の方でウイルスの増殖が抑制され血液中のウイルスは消失します。ただしウイルス消失には数か月以上かかることがあります。

## 【バラクルードの注意点】

- 投与初期にとりわけ気をつけていただきたいことは、**飲み忘れないこと**です。飲み忘れがあると、耐性ウイルス(バラクルードが効かない突然変異ウイルス)の出現が起こることがあります。一旦耐性ウイルスができると、有効な治療は少なく、時に若年でも肝不全に至り死ぬリスクがあります。**ちゃんと飲んでください**。
- ウイルスの増殖は抑制できますが、肝臓の中に種のような形で埋め込まれたウイルスにはバラクルードは効果がありません。従ってバラクルードを中止すればウイルスは再燃します。バラクルードは相当の期間内服を続ける薬です。
- 最近では Sequential Therapy という、中止の際にインターフェロンを併用することによりバラクルードを離脱できる方法があります(100%ではありませんが)。
- DNAにくっつくという特性上、将来子供を作るつもりの方には(待つことが可能であれば)投与は基本的に保留しています。胎児に対してバラクルードが催奇形性があるという報告はありませんが、30例程度の小規模研究で、先天異常の比率が増したという報告があります。

福山市民病院 肝臓内科 坂口孝作・下江俊成・藪下和久  
山陽病院 内科 辰川匡史